

令和元年台風第19号による河川関係の浸水被害に関する住民説明会

日 時 令和元年12月9日(月) 19時 開始
場 所 下布田小学校 体育館 (多摩区布田23-1)

次 第

- | | |
|---------------|---------------------------------------|
| 1. 開会のあいさつ | 建設緑政局長 |
| 2. 職員紹介 | 課長級以上職員 |
| 3. 浸水被害状況等の説明 | 建設緑政局道路河川整備部河川課長
多摩区役所道路公園センター整備課長 |
| 4. 質疑応答 | |
| 5. 閉会のあいさつ | 多摩区役所道路公園センター所長 |

配布資料：河川等に関連する浸水被害状況（A3-2枚）

(問い合わせ先)

●事業全般について

建設緑政局道路河川整備部河川課

TEL 044-200-2906

Fax 044-200-7703

●管理、維持・補修について

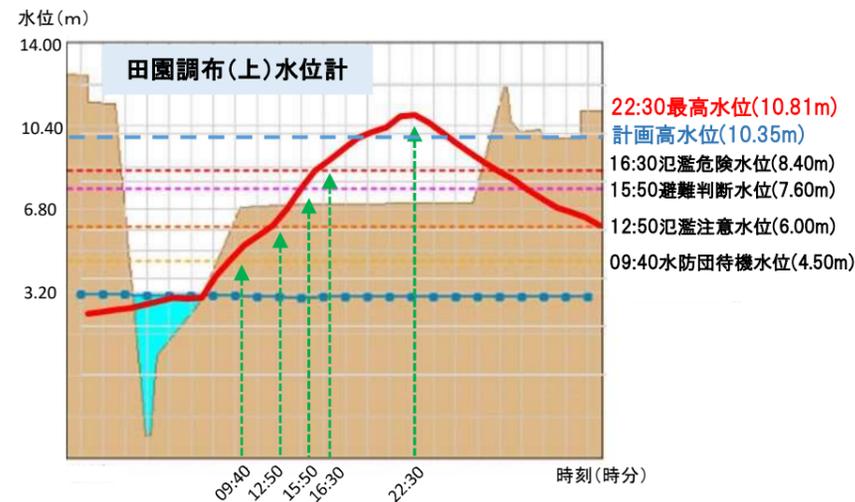
多摩区役所道路公園センター整備課

TEL 044-946-0044

Fax 044-946-0105

河川等に関連する浸水被害状況

多摩川の水位の状況



②平瀬川(多摩川との合流部)



平瀬川上流側から多摩川との合流部を望む



③三沢川(JR南武線三沢川橋りょう周辺)



多摩沿川道路から三沢川を望む

①河港水門(川崎区港町周辺)



多摩川下流側から河港水門を望む

(参考)河港水門とは大正時代末期、内陸部に運河を開通させる計画が策定され、昭和3年3月に完成したが、第2次世界大戦により運河は水門から約220mの開削で中断され、現在では埋め立てられて水門と接続する部分約80mが舟溜まりとして残存している。

三沢川に関する浸水被害状況

1. 台風概要

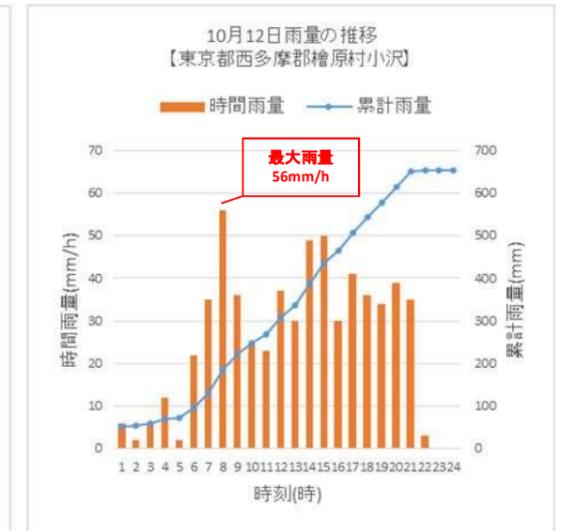
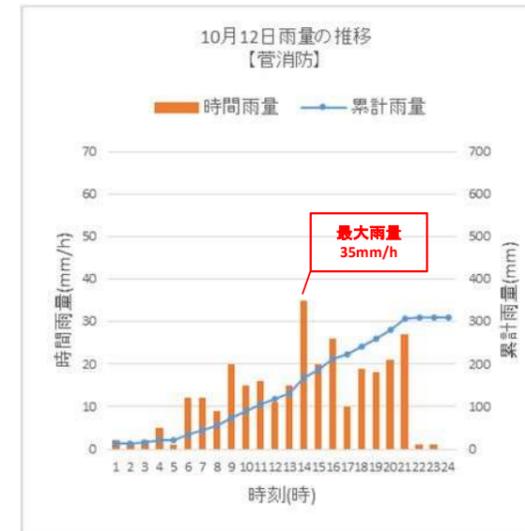
台風19号は、10月12日19時頃に大型で強い勢力を保ったまま伊豆半島に上陸し、関東地方を通過後、翌13日未明に東北地方の東海上に抜けていきました。

台風周辺の湿った空気の影響と、台風本体の発達した雨雲の影響で、長時間にわたり強い雨が降り続け、関東・東海・中部・東北地方と広範囲にわたり記録的な大雨となりました。

川崎市多摩区菅消防署に設置している雨量計では、11日の昼過ぎから降り始め、12日14時には1時間最大35mmに達し、総雨量（※1）としては310mmを記録しました。また、多摩川の流域においては、11日の降り始めから東京都西多摩郡檜原村で1時間に最大56mm、総雨量（※2）は流域最大の654mmの記録的な大雨となりました。

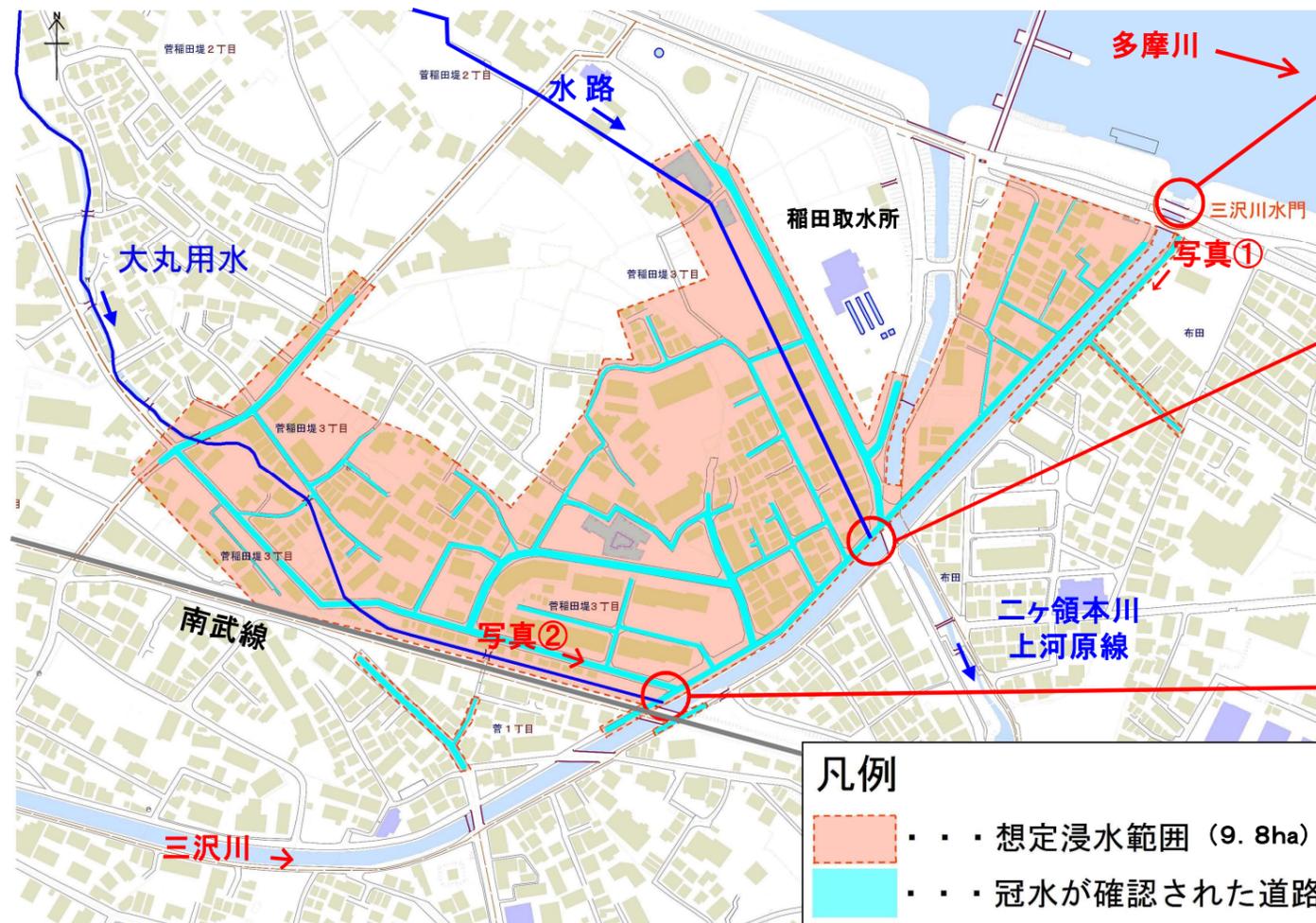
※1 11日13:00～12日23:00に降った雨の総量

※2 11日0:00～12日22:00に降った雨の総量



2. 浸水原因と浸水範囲

浸水原因については今後検証を進めていきますが、多摩川において計画高水位を越える状況の中、三沢川においても水位が上昇し、三沢川に流入する用水路等の水が流入しづらくなったため、水が溢れたものと考えています。



※11月8日時点の想定浸水範囲であり、事実と異なる場合があります。

3. 現場状況

写真① 三沢川管理用通路



10月12日午後9時頃

写真② 菅住宅付近

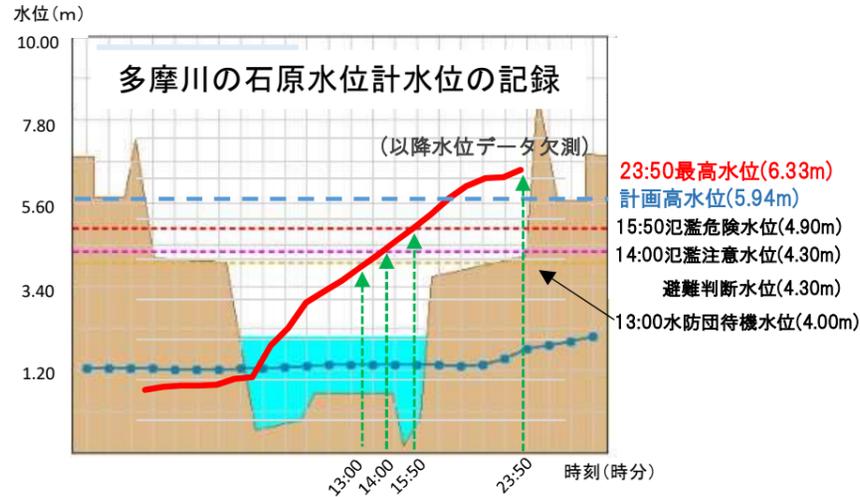


10月12日午後4時頃



三沢川に関する浸水被害状況

4.多摩川の水位と避難情報、三沢川水門の開閉記録



※ 石原水位計は、三沢川水門から約1.6km上流に位置

10/12

- 10:00 避難勧告発令(洪水)
- 16:03 三沢川水門のゲート全閉(6分間)※
- 16:43 三沢川水門のゲート全開※
- 17:50 避難指示(緊急)(洪水)発令
- 18:30以降 三沢川と多摩川の水位を確認しながらゲート操作(全閉せず)※

※ゲートの操作については京浜河川事務所によるもの

5.活動状況

三沢川関係

10/12

道路パトロール
三沢川周辺の住民避難広報
国土交通省京浜河川事務所所有のポンプ車による
三沢川の排水作業の現地対応

10/13以降

道路パトロール
三沢川沿いのJRアンダーパス等の道路清掃
町会への土のう袋配布
民地土砂回収(継続中)
道路の柵・側溝清掃(継続中)

※ その他の多摩区管内の10/12以降の活動については、土砂崩れ対応、道路パトロール、上河原堰堤の水門操作、道路冠水対応、道路清掃及び柵・側溝清掃、倒木処理などを行いました。

6.今後の取組

- ・今後は、速やかに浸水原因の検証を行い、対策の検討を進めてまいります。
- ・対策については、関係機関と協力しながら、早期に被害の軽減を図る「短期対策」と、より効果のある「中・長期対策」にわけて方策を検討してまいります。

	R元年度			R2年度												R3年度													
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
浸水原因の検証					→																								
対策検討 (中・長期対策)					→																								
短期対策 (検討・実施)					→																								
中・長期対策 (実施)																													
出水状況																													